

平成27年度 第2回政策推進会議報告

日 時 4月17日 9時30分～10時34分

場 所 4-1会議室

出席者 20人

1 (仮称)自転車政策推進プロジェクトチームの設置について

防災担当局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長)局またぎの課題であるため、よく連携が必要。これまでもやってきた分野ではあるが、改めて全庁的な体制を整備して取組を加速していきたい。今年度予算上も重点課題としていくため、市民の人に届く形で打ち出していきたい。

- ・タバコを吸いながら片手ハンドルで自転車を運転する等の利用者のマナーの問題はこのプロジェクトの対象外となるのか。

自転車に関わること全てがこのプロジェクトの対象である。ただ、本来であれば警察等も関わってもらうべきであるが、庁内の会議であるということで、オブザーバーとして警察及び国、県の道路管理者に関わってもらう予定である。警防啓発については現在も実施しているが、自転車に乗りながらスマートフォンの使用及びタバコを吸う等の行為は自転車事故につながるという警防啓発を改めて行っていくべきであると考えている。

(市長)関連で提案だが、タバコについても受動喫煙という健康面の問題、タバコのポイ捨て、歩きタバコというマナーの問題があり、対応が必要な大きな問題である。自転車に乗りながらタバコを吸うという問題についてだけでも、健康増進の観点から健康福祉局がオブザーバーとして関わる等、情報収集できるような体制で進めてほしい。

- ・検討を進めるにあたってのスケジュールを確認したい。今の話では、今までは駅前等の放置自転車対策に力を入れてきたが、これからは自転車を生かす方向に転換していくということで、かなり難しい話にも踏み込んでいかなければならないと感じた。そうしたときに今年度中にできることと、大きな目標を掲げてやっていかなければならない部分があると思うが、これは自転車政策の大きな転換と思ってよいのか。

その通りである。地域交通政策で自転車の位置付けを決めていくこととしているが、その前段として、今年度は過去の自転車対策、自転車利用計画等の課題抽出及び精査をして、改めて議論を行っていきたい。各局で実施している対策等についても方向性をまとめていきたい。

(市長)補足だが、便利で快適に生活したい人の利害、その利害関係の裏で放置自転車もしくは交通マナー等で迷惑をしており、これ以上自転車を促進しないでほしい市民、この二つが市内に同居している。自転車の快適さの利益を受けている人は、その快適さを守るためにも、ルール及びマナーを守るようキャンペーンとして力を入れて打ち出していくべきである。ルール及びマナーを守れなければ、自転車利用の抑制についても検討が必要となるかもしれない。市民意識も変わらないと難しい問題だが、チャレンジしていきたい。

- ・内部検討のプロジェクトチーム方式となっているが、市民意見を聞く場をどのように設けるか等丁寧にやっていただきたい。全庁的な問題であるため、フィードバックもしっかりとお

願いたい。

- ・このプロジェクトチームで、駐輪対策及び自転車のマナーを含め、地域交通政策のあり方について論議した上で、地域交通政策審議会に意見をもっていくのか。公共のバス、鉄道及び徒歩等についても論議するのか。

地域交通政策審議会は今年度の下半期に設置予定であり、それと同じ方向を向いて進めていきたいと考えている。審議会の中でも、主たる公共交通機関としてバス、またそれを補完するものとして自転車があがると考えられる。

(市長) 審議会が立ち上がる下半期を目処として、問題等の洗い出しをしていきたい。

- ・自転車対策する側と利用する側のメリットの対立する二つだけを議論していても、新しい転換に結びつけるのは難しい。どこかでビジョンを決めることが大事。人が街へ出ていくためのモビリティとして自転車を活用していくべき。

(市長) 県市長会で、県が策定した自転車条例についての報告があり、自転車の保険を義務付ける、自転車道を整備するなど県も先に踏み出しているため、本市もうまくやっていきたい。また、健康増進のためには車よりも自転車のほうが良いためその点も入れ込んでいきたい。

2 尼崎市障害者計画(第3期)・障害福祉計画(第4期)素案に対する市民意見公募 手続の結果等について

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 本市財政上、障害者分野において一般財源の持ち出しが増えているため、そういった中で必要な人に、必要なサービスが提供できるような運用をしていかなければならない。

3 次世代育成支援対策推進行動計画に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

こども青少年局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 総合計画における次世代育成関連の事業と一体化していくことを大きな主体としている。尼崎版まち・ひと・しごと総合戦略を作っていく中で、望む人が子どもを産んで育て易いよう出生率等を意識して整合性を取って進めていきたい。

3 その他

- ・経済環境局長から、データで見る尼崎の経済 2015 について説明。
- ・経済環境局長から、あまプレ25及びあまプレ30について説明。
- ・経済環境局長から、PCB について説明。

以上